

CubeSuite+対応 リアルタイムOS RI850MP、RI850V4およびRI78V4用 ユーティリティ リビジョンアップのお知らせ

リアルタイムOS RI850MP、RI850V4およびRI78V4用ユーティリティ (リアルタイム OSプラグイン) を以下のとおりリビジョンアップしました。

- リアルタイムOS 共通プラグイン V1.03.00からV2.00.00
- RI850MPプラグインV1.03.00からV2.00.00
- RI850V4プラグインV1.03.00からV2.00.00
- RI78V4プラグインV1.02.01からV2.00.00

1. 該当リアルタイムOS

アップデート対象のユーティリティはそれぞれ以下のOSに付属しています。

- (1) V850E2Mデュアルコア用 リアルタイムOS RI850MP V1.00.01
- (2) V850用リアルタイムOS RI850V4 V1.00.00～V1.00.02
- (3) RL78ファミリ、78K0R用リアルタイムOS RI78V4 V1.00.00～V1.00.02

2. リビジョンアップ内容

2.1 リアルタイムOS 共通プラグイン (RI850MP、RI850V4およびRI78V4用)

V1.03.00からV2.00.00に更新しました。

更新内容は以下のとおりです。

- (1) RTOSビルド設定機能 (OS共通機能部分) において、
統合開発環境CubeSuite+ V2.00.00 をサポートしました。
- (2) リソース情報表示機能 (OS共通機能部分)において、
統合開発環境CubeSuite+ V2.00.00 をサポートしました。

2.2 リアルタイムOS RI850MPプラグイン (RI850MP用)

V1.03.00からV2.00.00に更新しました。

V2.00.00では、RI850MP用のRTOSビルド設定機能において、
統合開発環境CubeSuite+ V2.00.00をサポートしました。

2.3 リアルタイムOS RI850V4プラグイン (RI850V4用)

V1.03.00からV2.00.00に更新しました。

V2.00.00では、RI850V4用のRTOSビルド設定機能において、統合開発環境CubeSuite+ V2.00.00をサポートしました。

2.4 リアルタイムOS RI78V4プラグイン (RI78V4用)

V1.02.01から V2.00.00に更新しました。

V2.00.00では、RI78V4用のRTOSビルド設定機能において、統合開発環境CubeSuite+ V2.00.00をサポートしました。

3. 動作環境

ホストコンピュータ: IBM PC/AT互換機

ホストOS: Windows 7, Windows XP, Windows Vista または Windows 8
ただし、64ビット版のWindows(R) XPを除く。

4. アップデート方法

アップデート対象のリアルタイムOS製品をお持ちの場合、無償でオンラインアップデートできます。(4月16日からサービス開始予定)

Windowsのスタートメニューから、プログラム -> Renesas Electronics CubeSuite+ を選択して、アップデートマネージャを起動してアップデートしてください。

[免責事項]

過去のニュース内容は発行当時の情報をもとにしており、現時点では変更された情報や無効な情報が含まれている場合があります。ニュース本文中のURLを予告なしに変更または中止することがありますので、あらかじめご承知ください。